

大会本番に向けて強化すべき課題

令和元年5月30日の関係省庁等連絡会議で決定した、「東京2020に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る関係府省庁等の取組」に基づく施策を着実に実施し、特に以下については、大会本番までに更なる強化を図ることとする。

1. 障害者等への対応

熱中症への配慮が必要な障害者や子ども、高齢者への対応として、関係機関が連携したきめ細やかな取組を進めること。

2. 外国人等に対する熱中症等関連情報の発信

日本の暑さや気象情報、熱中症の予防・対処方法、外国人受入を含めた医療体制の情報等を国内外に効果的に発信できるよう、英語以外の言語にも幅広く対応して取組を強化すること。

また、外国人が感じる日本の暑さに関する不安の払しょくを図るため、訪日前からウェブサイトやSNS等を通じて、クールスポット、暑さ対策グッズ、外国語対応可能な医療機関等の情報を効果的に発信すること。

3. 競技会場外における対策

組織委員会等と各自治体がしっかりと連携をしながら、ラストマイルや路上競技沿道周辺などにおけるきめ細やかな取組を進めること。